

辺野古土砂北九州・ミニニュース

辺野古埋め立て土砂搬出反対北九州連絡協議会 ≪2018年9月2日・No61≫
連絡先…森下 090-9495-3902 南川 090-2853-7116 八記 080-1730-8895



知事選・法廷闘争・県民投票…続くたたかいの山場

総会、40名の参加で新年度の方針論議

辺野古新基地ストップの行動に打って出よう

9月1日(土)、北九州生涯学習センターで、辺野古土砂北九州第4回定期総会を開催しました。

議案は「30部もあればいいやろう」と思いながら、成り行きで40部印刷。

ところが、総会開始後も、1人2人と参加者が増え続け、結局用意した議案数ぴったりの40人の会員さんが、総会に参加されました。辺野古をめぐる危機感が、この40と言う数に表れています。

新年度の活動方針としては、「(三段半くらいの小さな)新聞広告、あるいは、独自ポスターの張り出し(400枚くらいか)」「ニュースの定期発行」「国に基地建設を

断念させる市内・県内の行動」「積極的な映画上映で認識を広げ、かつ財政を作る」「事務局体制を強め運動の推進力を高める」などが確認されました。詳しくは同封の決議をお読みください。

役員は一部交代がありました。今回引退される「年金者組合門司支部」の安藤昭雄さん・「全港湾」の松永英樹さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。また新しく「顧問」を設け、天久泰弁護士(沖縄出身)に引き受けていただきました。よろしくお祈りします。

議案は、会計報告や新年度の活動方針など、拍手で承認されました。



最後にみんなで記念写真。お疲れ様でした。



総会会場の後ろには、会員さんからのメッセージや、辺野古土砂北九州の事が掲載された新聞を貼り出しました。

《エトセトラ》

◆運動の一番の課題は「新基地建設や土砂搬出を知らない人、興味を示さない人に、どう伝えていくか」ですが、「こうすればいい」と答えがすぐ出るものでもありません。今年も力を合わせ、試行錯誤で頑張りたいと思います。
◆欠席の連絡を下さった方が、何人もおられました。中には「行けないけど、会員を1人増やしましたよ」という嬉しい連絡も。

初めて
福岡市で
訴えました

翁長雄志さんの遺志を受け継ぐ沖縄県知事選挙の勝利をめざす福岡集会
～辺野古の埋め立てをゆるさない～
2018年9月2日(日)天神スカイホール 主催:福岡県総がかり実行委員会

9月2日(日)、福岡市で「福岡県総がかり実行委員会」主催の表記の集会が開かれ、会場に入りきれない約300人の参加がありました。辺野古土砂北九州も協賛団体として、4名(南川・藤堂・野田・八記)が参加し、土砂に係る発言を行いました(写真撮影・藤堂)。

当会はこれまで、柳川や田川で、発言や学習会の講師をしたことはありますが、福岡市で行動するのは初めて。今年は、県内の団体とも協力して、北九州だけでなく福岡県下でも、土砂搬出反対の運動を訴えていきたいと思っています。



集会後、天神で街頭宣伝も行いました。

●ミ二歴史

- 2013年12月…仲井真弘多知事(当時)が、埋め立てを「承認」。
- 2015年10月…翁長知事が前知事の埋め立て承認を「取り消し」。その後、これにたいし国は提訴、最高裁は「取り消し無効」の不当判決。
- 2018年7月…翁長知事が埋め立て承認の「撤回を表明」。
- 2018年8月…撤回の権限を委任された謝花副知事が、「承認を撤回」。

●承認の「取り消し」と「撤回」はどう違う？

「取り消し」は、許認可に法的な欠点があった場合に行い、「撤回」は、承認の後に生じた事情により、将来向かって効力を消滅させる行いじゃよ。

●今回の撤回理由は？…大きく分けて4つあるんじゃ。まず①国土利用がちゃんとできていない…海底地盤が、想定外の特殊な地形・地質で、超軟弱地盤・活断層などの問題がある。高さ制限の問題もある。また、新基地建設だけでなく、他の条件も満たさないと普天間が帰ってこない。②果たすべき約束を守っていない…国は県と事前工事を行うことなく、海上工事・護岸工事を始めた。③災害防止に対する配慮…超軟弱地盤の沈下等の危険。活断層の危険。④環境保全の要件を満たしていない…保全全体について事前協議なしに工事を始めた。サンゴ・ジュゴン・海藻藻類への対応が不適切などなど。こんなにたくさんの理由があるんじゃよ。



承認の「取り消し」と「撤回」はどう違うの？
それと「撤回の理由」は？